

わたしのまちづくり わたしのまちづくり

DARAZ が米子を元気にする！

米子信用金庫 赤碓支店 支店長 遠藤 彰

I. ホームタウン商都米子の衰退

当金庫が本店を置く鳥取県米子市は、人口約 15 万人で、鳥取県西部地域 24 万人商圏の中核都市です。交通の要所である米子市は、古くから商都として栄えた「まち」でしたが、大手流通業者の進出などにより地域の中小商業者は厳しい状況にあります。

II. 事業支援から地域振興へ

私は、平成 13 年より取引先企業の経営相談を担当していました。事業支援活動の中で感じたことは、「企業を元気にするためには、地域を元気にする必要がある」「地域を元気にするには、地域を魅力的にしなければならない」ということでした。「魅力のあるまちに人は集まり、そのまちは活性化する」との思いから、地域振興への取り組みに興味を持つようになりました。

当金庫は、社会貢献活動のメインテーマとして「まちづくり」を掲げています。この「まちづくり」を金融面で支援する仕組みが「地域活性化ファンド チャレンジ 21」です。地域のためになるアイデアや商品・技術のビジネス化のために、リスクをとってサポートするものです。

このチャレンジ 21 の第 3 号案件として提案があったのが、「KIHACHI OKAMOTO PROJECT」です。米子の中心商店街の状況を何とかしたいと考える米子高専建築学科の学生 3 名と、

米子市出身の映画監督故岡本喜八氏の生家で靴屋を営む若手経営者が応募してきたのです。



(平成 19 年 11 月 4 日

第 1 回 KIHACHI 祭り in 米子

パネルディスカッションにて
写真左が遠藤さん)



(米子市の位置)

申し出のあったビジネスプランは、岡本喜八監督の記念館を建設して米子に「にぎわい」を取り戻そうとするものでした。地域のベンチャー企業の経営者や行政関係者などからなるビジネス評価委員会は、当該プランを「未完成けれども地域活性化への可能性を秘めている」と評価して、ビジネスモデルのブラッシュアップをサポートする段階へと進むことを決めました。



(平成 18 年 6 月 19 日
ビジネス評価委員会 風景)

LOVE DARAZ!

KIHACHI OKAMOTO プロジェクト は、元気のあった頃の米子人の気質を **DARAZ** (何でも真っ先に飛びついて、突拍子もないことをしてしまうが、どこか憎めない) と捉え、その象徴的な存在を **岡本喜八監督** と位置づけています。

DARAZ = 喜八スピリット を広めることにより、米子に再び元気を取り戻そうとする活動を展開していきます。

(KIHACHI OKAMOTO プロジェクト)

Ⅲ. ビジネスプランの ブラッシュアップ

地域にとって役に立つビジネスであっても事業性が伴わなければ、長続きはしません。持続可能なビジネスモデルを作り上げることが課題でした。

一番の問題点は、岡本喜八監督の地元での知名度の低さでした。また、映画という小さなフィールドで地域活性化という大きな命題を達成することには、困難が予想されました。そこでまず取り組んだことが、プロジェクトメンバーの思いを多くの人に伝える「ソフト事業」の展開でした。

KIHACHI OKAMOTO PROJECT と名付けられたこのプロジェクトでは、喜八監督のスピリットを「DARAZ」(何でも真っ先に飛びついて突拍子もないことをしてしまうがどこか憎めないという意味の方言) と捉え、米子人氣質の象徴として広めることにしたのです。

Ⅳ. KIHACHI 祭り

平成 19 年 5 月に NPO 法人として組織化された喜八プロジェクトは、商店街関係者、地域の学生・住民・企業・行政機関などを巻き込む動きとなっていきました。

平成 19 年 11 月には「第 1 回 KIHACHI 祭り in 米子」、平成 20 年 9 月には「DARAZ フェスタ 2008 ～第 2 回 KIHACHI 祭り in 米子～」と 2 回の大きなイベントを開催しました。特に平成 20 年の DARAZ フェスタから始めた「DARAZ トライアスロン世界大会」は、「DARAZ」スピリットを表現する大きな広告塔となりました。

これらソフト活動の大きな収穫が、「新たな出会い」でした。ボランティア活動での一番大きな求心力は、「自己実現への思い ～夢～」です。自らの夢を実現しようとする DARAZ たちが集まっ

てきたのです。ライブハウスを運営しながら文化活動をビジネス化しようとする元行政マンや、コミュニティ FM 放送局を立ち上げて地域を元気にしようとする県域 FM 放送局のスタッフなどが、プロジェクトメンバーに加わりました。

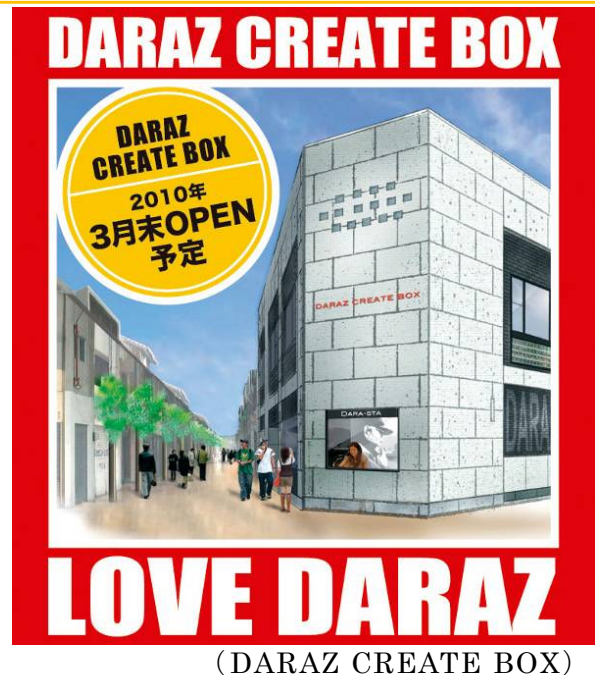
V. DARAZ CREATE BOX のビジネス化

学生たちの提案から 4 年の時を経て、プロジェクトの「夢」を実現することとなりました。

平成 22 年 3 月にオープンを予定しているインキュベーションスペース「DARAZ CREATE BOX (ダラズクリエートボックス)」(以下: DCB) は、商店街で創業しようとする若者に安価なスペースを提供すると共に、NPO 法人の持つ豊富な人材ネットワークで創業をサポートする、複合商業集積施設です。米子市中心市街地活性化基本計画においては「にぎわい創出事業」及び「文化振興事業」と位置づけられており、経済産業省の戦略的中心市街地商業活性化補助金、及び鳥取県のまちなかビジネス創出事業補助金などの支援を受けながら整備を進めています。

NPO 法人が筆頭株主となる「まちづくり会社 DARAZ」が設立され、ライブハウスの運営会社の副社長が社長に就任しました。現業でのノウハウとライブハウスにある音楽コンテンツを融合させる新たなビジネスモデルを構築しています。同会社は、「商店街を鎮守の森にする」をテーマに①氏子(お客様)を育て②出店(創業者)を育て③まちを育てることを目指しています。ハイティーンをターゲットにした DCB は、学生たちが提案した喜八プロジェクトのルーツを大切に守っているのです。

DCB のもう一つの目玉は、コミュニティ FM 放送局のサテライトスタジオを併設していることです。NPO 法人が設立



発起人代表となり、「株式会社 DARAZ コミュニティ放送」を設立して放送局の管理・運営にあたります。この「DARAZ FM」は、番組編成を NPO 法人が行い、地域の文化、産業を振興すると共に地域防災の要として市民に「安心」と「安全」を提供することを目指しています。

同 FM が、米子市の中心商店街に面したサテライトスタジオから鳥取県西部地域の 25 万人に地域の活きた情報を届けるのです。また、学生たちをターゲットにした番組も多く取り入れ、地元高校の放送部員が企画・制作する番組も登場します。

6月末
開局
予定!!



DARAZのDARAZによるDARAZのためのコミュニティ放送局
**中海圏域25万人の地域情報の
要となる放送局**

文化 産業 セーフティーネット がキーワード

DARAZ FMの思い

約束..... DARAZ FMは、まちの元気を約束します。
個性..... 同時に、DARAZのような性格や雰囲気を持ちます。
お客様..... DARAZ FMは、若者たちに。
事業..... コミュニティFM放送を通じて。
夢..... 自由な表現の場とDARAZYな*まち、をもたらしませう。

VI. KIHACHI OKAMOTO PROJECTの目指すもの

喜八プロジェクトは、産業・文化・観光の中間支援組織として地域産業の振興（商店街の振興、地域企業の育成など）や地域文化の醸成（地域情報の提供、米子人としてのアイデンティティ形成など）に取り組んでいます。

プロジェクトメンバーの共通する「究極の思い」は、「若者を含めた地域の人々に地域に対する誇りを持ってもらうこと」です。地域の人々が「ふるさと」を自慢して全国から人が集まってくる、子どもたちが「ふるさと」を誇りに思い生活の場として選ぶ、このような流れが地域に再び「にぎわい」を取り戻すことにつながると確信しています。

当金庫の基本方針には、「地域社会の経済発展に寄与」し、「豊かな住みやすい郷土の建設に尽くす」とあります。このプロジェクトが目指す地域活性化の姿には、地域金融機関が描く地域活性化イメージと共通するところが多くあります。当金庫の地域貢献活動のキーワードは、「若さ」「情熱」「郷土愛」です。今後も地域の人々と共に、地域の活性化に取り組んでいきたいと思っています。



喜八プロジェクトから 米子信用金庫へ



NPO 法人 喜八プロジェクト
理事長 判澤 正弘さん

私たちが KIHACHI OKAMOTO PROJECT は、米子市出身の映画監督・故岡本喜八監督の名前を冠し、監督の描いてきた「無鉄砲で何をしでかすかわからないがどこか憎めない」人物像を元気があったころの米子人のスピリットと定義し名付けた「DARAZ」をテーマに、「まちづくり」活動を続けてきました。4年間の活動で地元の学生や地域住民と共に「まち」に元気を届けることができたと思っています。

プロジェクト発足～NPO 法人設立～拠点施設整備構想と進んでいく過程で多くの皆様のご協力を得てまいりましたが、その際に組織をあげて御支援いただき、とりわけ大きな力になってくださったのが米子信用金庫さんでした。

私たちの活動を、持続可能なビジネスプランへとどうブラッシュアップしていけるかは、とても大きなテーマでしたが、その際に様々なサポートメニューで非常に大きな推進力になってくださいました。また、地域のきめ細かい情報を、私たちの街づくり活動へつながるように蓄積・整理し他団体・企業との連携にも力を貸してくださいました。

今後とも経営基盤の安定のために、一緒にアイデアを出し合い、地域活性化の力になればと期待しています。